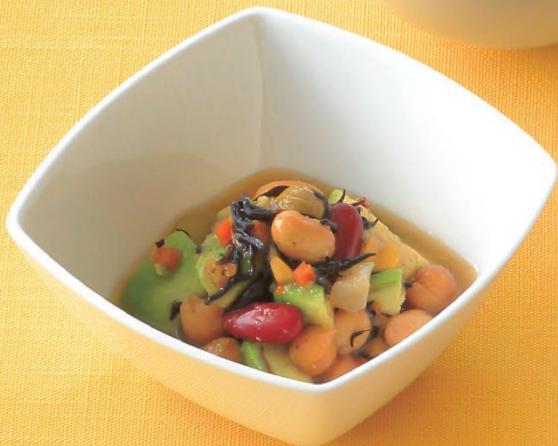




証券コード 2908



第58期 報告書

平成29年4月1日から
平成30年3月31日まで





代表取締役社長 **福井 不二**

新企業理念のもと、私たちは変わります！

平成30年3月期（連結）

売上高

629.1 億円（前期比 3.4%増）

営業利益

53.9 億円（前期比 0.8%増）

経常利益

57.2 億円（前期比 0.4%増）

親会社株主に帰属する当期純利益

40.2 億円（前期比 6.1%増）

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

Q. 当期の取り組みについて教えてください。

A. 当連結会計年度におけるわが国経済は、海外経済の不確実性などの影響により先行き不透明な状況が続きましたが、雇用や所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調で推移しました。

食品業界においては、消費者の根強い節約志向もあり、引き続き厳しい経営環境となりました。

このような環境の中、当グループにおいては、中期3か年計画の2年目として、効率経営の追求とともに、「消費者志向自主宣言」の下、ブランド価値向上並びに製品事故対策に取り組み、「安心・安全・健康」の価値創造基盤の再強化に注力しました。

売上高は、成長品群の惣菜製品をはじめ、全ての製品分類において前年実績を上回ったことから、629億17百万円（前期比3.4%増）となりました。

また、利益面では、人件費及びエネルギー費用等の増加で

売上原価率が上昇しましたが、売上高の増加に加え、経費節減の活動に取り組んだ結果、営業利益は53億96百万円（前期比0.8%増）、経常利益は57億28百万円（前期比0.4%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は40億23百万円（前期比6.1%増）となりました。

これらの結果、**売上高及び営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益のいずれも過去最高を更新しました。**

Q. 通期の見通しはいかがでしょうか？

A. 国内経済は、雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかな回復基調にあるものの、世界経済の不確実性から、今後も不透明な状況が続くものと思われます。

食品業界においては、消費者の根強い節約志向に加え、多様化する消費者ニーズへの対応が求められるなど、引き続き厳しい経営環境が続くものと思われます。

このような状況下、当グループにおきましては、平成30年4月より新企業理念「フジッコの心」をスタートさせ、私たちの目指す姿「自然の恵みに感謝し 美味しさを革新しつづけ 全ての人々を元気で幸せにする 健康創造企業を目指します」



私たちの目指す姿

自然の恵みに感謝し 美味しさを革新しつづけ
全ての人々を元気で幸せにする 健康創造企業を目指します

5つの行動指針

会社の持続的な発展とすこやかな社会の実現のために私たちは変わります！

- 情熱** 熱くなれ！
情熱は 周囲を巻き込み 意識と行動を引き出す
- 変革** 変化を歓迎せよ！
知識と感性を磨き 時代の一步先を行け
- 挑戦** 失敗を恐れず 挑戦せよ！
挑戦は 新たな価値を創造する
- 結束** 志を一つにせよ！
決まったことは 実行あるのみ
- 尊重** 謙虚に耳を傾けよ！
互いを尊重する姿勢は 新しい気づきを生む

の実現に取り組んでまいります。また、成長戦略と効率経営の両輪を力強く推進し、フジッコブランドの価値向上に注力します。

Q. 新企業理念に込めた想いを教えてください。

A. 従業員の自主性を育む組織風土をより一層醸成することができるよう、従業員一人ひとりの「変革」を促す内容となっています。企業理念を再構築した目的は、次のとおりです。

1. フジッコの風土改革を促進するきっかけとする
2. 社会におけるフジッコの存在意義を明らかにする
3. 従業員が共通の価値観を共有する

つまり、今回誕生した新企業理念は、従業員に求める行動指針をわかりやすく明文化したものになります。

私たちの目指す姿では、全ての判断基準となる目指す方向性をわかりやすい言葉で示しました。

「自然の恵みに感謝し」は、フジッコの事業が自然の恵みの下に成り立っていること、生産者・原産地の環境などにも想いを馳せ、私事として共に解決を図る姿、

「美味しさを革新しつづけ」は、現状を打破して飛躍的に良

い商品づくりを追究する姿、

「全ての人々を元気で幸せにする 健康創造企業を目指します」は、全てのステークホルダーの皆様に健康と幸せをお届けする姿、そして従業員が健康で、いきいきと「元気」に働ける組織風土を表現しました。

Q. 最後に株主の皆様へ一言お願いします。

A. フジッコの旧会社名である「富士昆布」の「富士」には、「昆布業界の頂点と味覚の頂上を目指す」という創業者の想いが表されています。フジッコは間もなく創業60周年、人間で言えば還暦を迎えます。新企業理念のもとで決意を新たにするとともに、味覚の頂上を目指し、果敢に挑戦し続けてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年6月

製品別の売上状況

「おばんざい小鉢」が好調な惣菜製品をはじめ、
全ての製品分類で前年実績を上回りました。

惣菜製品

売上高 **200.6億円** (6.0%増) ↗



昆布製品

売上高 **176.1億円** (0.6%増) ↗



豆製品

売上高 **140.6億円** (2.6%増) ↗



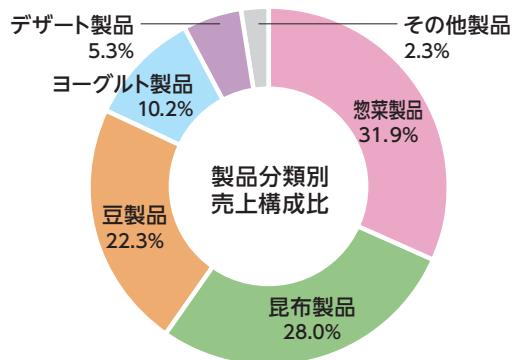
ヨーグルト製品

売上高 **63.9億円** (2.8%増) ↗



デザート製品

売上高 **33.5億円** (5.8%増) ↗



※上記数値は平成30年3月期(連結)です。
※カッコ内の数値の増加率は前期比です。

事業の取り組み

豆を食べて健康に

「大豆ファースト」を推進しています！

蒸し豆を食事のはじめに食べる食事法「大豆ファースト」の有用性を研究し、その研究結果を元に健康の切り口から蒸し豆のプロモーションを行っています。

「大豆ファースト」とは？

血糖値の急激な上昇を防ぐために野菜から食べるスタイルをベジファーストといますが、野菜を大豆に置き換えたものが「大豆ファースト」です。蒸し豆ならそのままおつまみや、サラダにパラッとふりかけるだけで「大豆ファースト」を簡単に実践することができます。

「大豆ファースト」の有用性

- 「ベジファースト」より少量で、同等以上の食後血糖値上昇抑制効果を得られる
- 満腹感が長時間持続する
- 汎用性が高く幅広い料理で応用できる
- 食物繊維の他にたんぱく質や大豆イソフラボンなどの成分も摂取できる



▲ 蒸し豆ヨーグルト



「大豆ファースト」が“かくれ高血糖”対策に繋がる

フジッコでは、テレビなどでもおなじみの池谷医院院長 池谷敏郎先生の監修の下、「大豆ファースト」の食後血糖値上昇抑制効果を検証した実験を行いました。

池谷先生によると、食後に一時的に高血糖の状態になることを“かくれ高血糖”といい、空腹時に行う通常健康診断では見つからず、この“かくれ高血糖”は病気ではないものの糖尿病予備軍とのこと。実験の結果、食事の最初に豆を食べる「大豆ファースト」で、糖や脂肪の吸収を緩やかにし、血糖値の上昇を抑制することができることから、“かくれ高血糖”対策となることが確認されました。



【実験監修】池谷 敏郎

医療法人社団 池谷医院 院長/
東京医科大学 客員講師
総合内科専門医、循環器専門医

1988年、東京医科大学医学部卒業後、同大学病院第二内科に入局。1997年、池谷医院理事長兼院長に就任。心臓、血管のエキスパート。著書に「血管を強くして突然死を防ぐ」(PHP研究所)、「血管を鍛えると超健康になる!!」(三笠書房)、「検診・人間ドックではわからない!「かくれ高血糖」が体を壊す」(青春新書ブレイブックス)など多数。



▲ フジッコ本社で実施した講演会の様子

第3回 株主様対象料理講習会を開催!

株主の皆様により健康な食生活を送っていただくとともに、フジッコをより身近に感じていただきたいという想いから平成29年より株主様を対象にした料理教室の開催を開始し、平成30年2月6日に開催した第3回では、講習会形式で90名の方にご来社いただきました。「心ぼかぼか、人の心を近づける冬のあったか料理」のテーマで、NHK「きょうの料理」でもおなじみの白井 操先生に、フジッコ商品を利用したおすすめメニューのデモンストレーションをしていただきました。また、事業戦略や商品政策についてもご説明し、フジッコについて理解を深めていただく機会となりました。



▲ 事業や商品に関する説明



▲ 白井先生による料理講習会

ファン株主づくり

平成30年3月期の取り組み

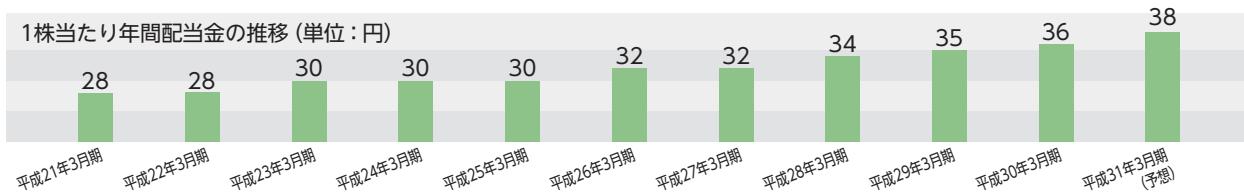
- 1 株主様向け料理教室の開催
- 2 株主総会の充実
- 3 個人投資家向けIRフォーラム
- 4 統合報告書
「フジッコレポート2017」の発行
- 5 フジッコの生活情報誌
「Beans Life」にIRページの連載

配当についての考え方

剰余金の配当は中間配当及び期末配当の年2回を基本方針としております。上場以来、一度も減配することなく安定した配当を行っており(ただし、記念配当は除く)、今後も収益性の向上と財務体質の強化に努め、着実な業績の向上により、安定配当を図ってまいります。平成31年3月期は、業績が堅実に推移していることから、1株につき2円増配の38円(中間19円、期末19円)の普通配当を予想しております。

平成31年3月期は
年間配当38円を
予想

1株当たり年間配当金の推移(単位:円)



「和食給食応援団」豆の出前授業

食育

フジッコは、一般社団法人「和食給食応援団」の推進パートナーとして活動しています。その一環として、平成30年2月1日、兵庫県にある西宮市立甲東小学校において節分をテーマにした豆の食育授業を実施しました。「パサパサしている」「においが苦手」など子供が苦手な野菜にあげられることが多い大豆ですが、豆まき体験など実際に豆に触れたりクイズなどを通じて種類や栄養についても学び、授業後のアンケートでは8割以上の児童が豆に対する興味関心が高まったと回答。給食には節分にちなんで年齢プラス1の数の「蒸し大豆」を食べ、大豆の美味しさを実感しました。

フジッコではこれからも和食文化の継承と健康な食生活をお届けするため、食育活動に取り組んでいきます。



▲ 出前授業の様子



▲ 蒸し大豆を試食

ネパールの支援活動を継続

地域貢献

平成14年より、フジッコでは、「ヨード欠乏症^{*}」の根絶を目指して活動している「ネパール・ヨードを支える会」を“昆布ミネラルカプセル”の無償提供で応援してきました。平成27年4月に発生したネパール地震で死者8,460名、負傷者2万人以上と甚大な被害があったことを受け、被災地で不足しがちなたんぱく質や食物繊維が豊富で、調理なくそのまま食べられる「煎り黒豆」の無償提供で支援を続けてきました。

平成29年にはフジッコ社員が実際にネパール現地を訪れ、ヨード欠乏症の現状調査とともに、「煎り黒豆」を持参して被災者支援活動を行いました。

ヨード欠乏症患者の数は以前と比べて減少しているものの、まだ一定数いること、震災から3年経つ今も依然として震災の爪あとが色濃く残っていることから、今後も活動を続けていきます。



▲ 復興活動中のポテシバ村を訪問



▲ 震災後再建中の病院

^{*}ヨード欠乏症とは、慢性的なヨード不足により甲状腺が機能不全を起こす病気です。自給自足の農村地帯に多く見られ、険しい山岳地帯に集落の多いネパールでは特に重症患者が多いことで知られています。

連結財務ハイライト

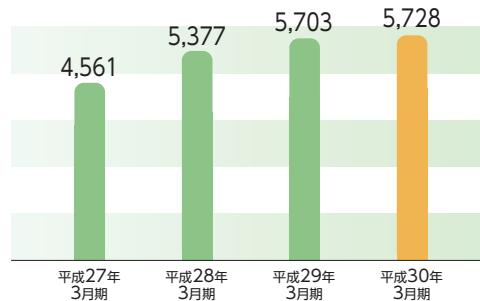
売上高

百万円



経常利益

百万円



営業利益

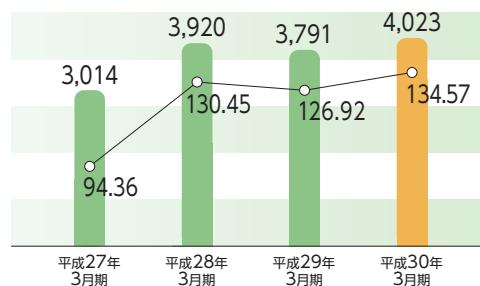
百万円



親会社株主に帰属する当期純利益・1株当たり当期純利益金額

百万円・円

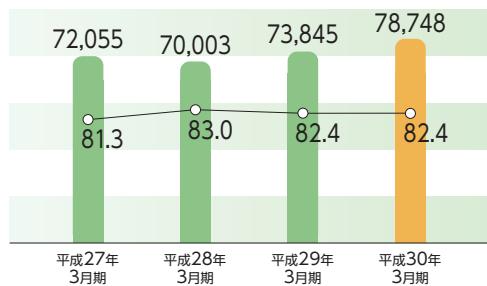
■ 親会社株主に帰属する当期純利益 ○ 1株当たり当期純利益金額



総資産・自己資本比率

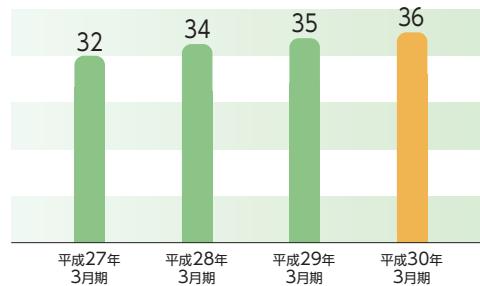
百万円・%

■ 総資産 ○ 自己資本比率



年間配当金

円



連結貸借対照表		(単位:百万円)	
科 目	前 期 (平成29年3月31日現在)	当 期 (平成30年3月31日現在)	
資産の部			
流動資産	32,288	31,363	
固定資産	41,556	47,384	
有形固定資産	33,469	38,052	
無形固定資産	317	342	
投資その他の資産	7,768	8,989	
資産合計	73,845	78,748	
負債の部			
流動負債	10,952	11,561	
固定負債	1,989	2,214	
負債合計	12,942	13,776	
純資産の部			
株主資本	59,115	62,135	
資本金	6,566	6,566	
資本剰余金	7,421	7,456	
利益剰余金	52,136	55,080	
自己株式	△7,009	△6,968	
その他の包括利益累計額	1,739	2,785	
その他有価証券評価差額金	1,867	2,898	
退職給付に係る調整累計額	△127	△112	
新株予約権	48	51	
純資産合計	60,903	64,972	
負債純資産合計	73,845	78,748	

連結損益計算書		(単位:百万円)	
科 目	前 期 (自 平成28年4月 1日 至 平成29年3月31日)	当 期 (自 平成29年4月 1日 至 平成30年3月31日)	
売上高	60,860	62,917	
売上原価	35,368	36,927	
売上総利益	25,491	25,989	
販売費及び一般管理費	20,139	20,592	
営業利益	5,352	5,396	
営業外収益	405	388	
営業外費用	54	57	
経常利益	5,703	5,728	
特別利益	77	190	
特別損失	264	405	
税金等調整前当期純利益	5,516	5,513	
法人税、住民税及び事業税	1,760	1,659	
法人税等調整額	△35	△169	
当期純利益	3,791	4,023	
親会社株主に帰属する当期純利益	3,791	4,023	

連結キャッシュ・フロー計算書		(単位:百万円)	
科 目	前 期 (自 平成28年4月 1日 至 平成29年3月31日)	当 期 (自 平成29年4月 1日 至 平成30年3月31日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,660	4,525	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,146	△6,216	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,521	△1,076	
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—	
現金及び現金同等物の増減額	1,992	△2,767	
現金及び現金同等物の期首残高	13,643	15,635	
現金及び現金同等物の期末残高	15,635	12,867	

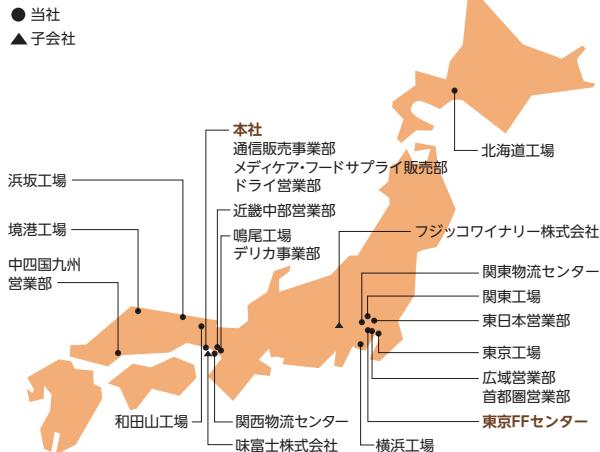
■ 会社の概要 (平成30年3月31日現在)

社名	フジッコ株式会社
本社所在地	神戸市中央区港島中町6丁目13番地4
事業内容	惣菜製品、昆布製品、豆製品、ヨーグルト製品 及びデザート製品を主体とした食品加工業
創業	昭和35年11月7日
資本金	65億66百万円
従業員	2,259名
工場	兵庫3、埼玉1、千葉1、神奈川1、北海道1、鳥取1
物流センター	兵庫1、埼玉1
営業拠点	全国21拠点
連結子会社	●フジッコワイナリー株式会社 ●味富士株式会社

■ 取締役 (平成30年6月27日現在)

代表取締役社長	福井 正一
専務取締役	奥平 武則
常務取締役	籠谷 一徳
常務取締役	石田 吉隆
常務取締役	山田 勝重
取締役	荒田 和幸
社外取締役	渡邊 正太郎
取締役 監査等委員	藤澤 明
社外取締役 監査等委員	石田 昭
社外取締役 監査等委員	曳野 孝

■ サービスネットワーク (平成30年6月27日現在)



本社	〒650-8558	神戸市中央区港島中町 6-13-4
東京FFセンター	〒112-0013	東京都文京区音羽 1-26-16
東日本営業部	〒344-0041	埼玉県春日部市増富 110
首都圏営業部	〒112-0004	東京都文京区後楽 1-4-14 後楽森ビル16階
広域営業部	〒112-0004	東京都文京区後楽 1-4-14 後楽森ビル16階
ドライ営業部	〒650-8558	神戸市中央区港島中町 6-13-4
近畿中部営業部	〒663-8233	兵庫県西宮市津門川町 3-6
中四国九州営業部	〒733-0812	広島市西区己斐本町 3-13-26
デリカ事業部	〒663-8142	兵庫県西宮市鳴尾浜 1-22-5
メディケア・フードサプライ販売部	〒650-8558	神戸市中央区港島中町 6-13-4
通信販売事業部	〒650-8558	神戸市中央区港島中町 6-13-4
関東物流センター	〒350-2218	埼玉県鶴ヶ島市柳戸町 8-21
関西物流センター	〒658-0033	神戸市東灘区向洋町西 6-13-1
北海道工場	〒066-0077	北海道千歳市上長都 1-8
関東工場	〒349-1212	埼玉県加須市麦倉 1501
東京工場	〒273-0014	千葉県船橋市高瀬町 5
横浜工場	〒226-0012	横浜市緑区上山 1-8-2
鳴尾工場	〒663-8142	兵庫県西宮市鳴尾浜 1-22-5
和田山工場	〒669-5212	兵庫県朝来市和田山町柳原 68
浜坂工場	〒669-6732	兵庫県美方郡新温泉町福富字定利 178
境港工場	〒684-0046	鳥取県境港市竹内団地 271
フジッコワイナリー株式会社	〒409-1313	山梨県甲州市勝沼町下岩崎 2770-1
味富士株式会社	〒650-0046	神戸市中央区港島中町 6-13-4

■株式の状況 (平成30年3月31日現在)

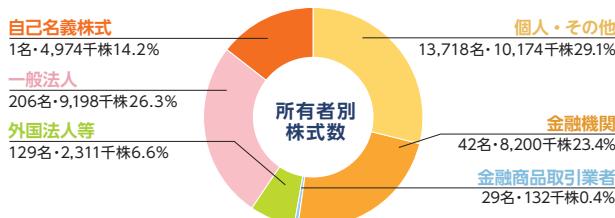
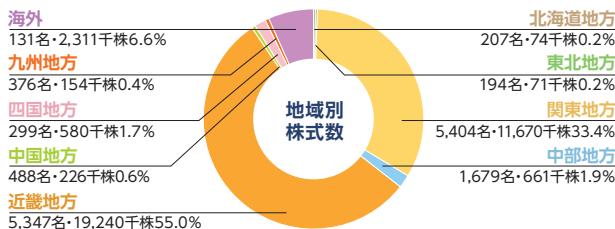
発行可能株式総数	108,000,000株
発行済株式の総数	34,991,521株
株主数	14,125名

■大株主の状況 (平成30年3月31日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
有限会社ミニマル興産	6,194	20.63
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,635	5.44
福井正一	1,015	3.38
株式会社三菱東京UFJ銀行	895	2.98
住友生命保険相互会社	854	2.84
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	745	2.48
田中久子	616	2.05
日本生命保険相互会社	550	1.83
株式会社三井住友銀行	494	1.64
繁畑友章	475	1.58

- (注) 1. 大株主上位10名を記載しております。
 2. 当社は、自己株式4,974,116株を保有しておりますが、上記には含めておりません。
 3. 持株比率は、自己株式4,974,116株を控除して計算しております。
 4. 株式会社三菱東京UFJ銀行は、平成30年4月1日より株式会社三菱UFJ銀行に商号変更しました。

■株式分布状況 (平成30年3月31日現在)



- (注) 「金融商品取引業者」とは、「証券業」を含む金融商品取引業者を指し、従前の「証券会社」と同様の範囲となります。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日
期末配当金 受領株主確定日	3月31日
中間配当金 受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777(通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL https://www.fujicco.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときには、日本経済新聞に公告いたします。)

ご注意

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなります。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記の連絡先にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

配当金について

当社定款の規定に基づき、平成30年3月31日の最終の株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者に対し、次のとおり期末配当金を支払います。

- | | |
|-----------|------------|
| 1 配当金 | 1株につき金18円 |
| 2 効力を生じる日 | 平成30年6月28日 |



この印刷は環境に優しい
植物油インキを使用しています。



食よく、バランスよく。

「新・日本型食生活」をめざして

フジッコ株式会社
神戸市中央区港島中町6丁目13番地4

UD
FONT

見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

表紙 一汁三菜ふだんごはん

献立
主 菜 … ポークジンジャー
副 菜① … 春菊のうの花和え
副 菜② … 豆とひじきとアボカドのサラダ
汁 もの … お茶
主 菜 … ごはん

▶ WEBで一汁三菜レシピ公開中!!

フジッコ 一汁三菜

検索